

浜松市総合交通計画 改定版（案）、浜松市地域公共交通網形成計画（案）に対する
パブリック・コメント

主な意見と市の考え方

●新型コロナウイルスに関連すること

【市の考え方】国交省が策定した、「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」を示し、コロナ禍における最適なあり方や政策の方向性の検討を行うよう追記した。 （計画P48に追記）

●環状方向のバス路線に関連する意見 【総12・13・14】《網14・15》

【意見】高塚駅や天竜川駅を起点とする環状方向のバス路線を希望するものや、計画で構想路線としていることへの意見

【市の考え方】PT調査の結果、浜松駅を經由した鉄道、バスの移動は少ないこと、環状路線バスの実証実験の結果、成果は得られなかったことなどから構想路線に設定している。

ただし、今後の社会経済情勢の変化に伴い、必要性が高まれば導入を検討することを盛り込み済。

●地域バスの維持基準に関連する意見 《網22・23・24》

【意見】地域バスで設定する維持基準の必要性や、設定根拠、全地域統一の数値で設定されていることに関する意見

【市の考え方】維持基準は、地域公共交通を将来的にも持続可能なものとするため設定し、中山間地を運行するバス路線の収支を参考に、本計画では、20%から16%に変更した。

更に、過疎地域は、人口減少、高齢化などの地域特性を考慮し、弾力的に14%とすることを盛り込み済。

●新たな交通（LRT）に関連する意見 【総36・37】《網27・28》

【意見】渋滞対策や観光客誘致のため、LRTなど新たな交通を要望する意見

【市の考え方】LRTは、道路空間の制約や事業の採算性、継続性など多くの課題が存在する。今後、社会情勢が変化し、需要が増した場合、本市に適した交通システム（連節バス）を検討することを盛り込み済。

●新たな交通サービス（Ma a S）に関連する意見 【総6・7】《網6・29》

【意見】新たな交通として注目されている「Ma a S」について市の取組みを問う意見

【市の考え方】モビリティ分野は、令和2年度に浜松版Ma a S構想を策定するとともに、実証実験を通して、将来の取り組みに繋げていく予定。また、アクションプログラムに、Ma a Sなどの取組みを検討していくことを盛り込み済。

●その他

文章や図表の表記をわかりやすい表現にしてほしいとの意見に対し、文章や図表の修正等、案の修正をした。

【総3・4・16～19・22・23・28・29・31】

《網3・7・13・16～18・41～43》

※ 両計画に共通する意見と回答 を掲載